

“2020 里山フォーラム in 麻生”は「実行委員会」で企画運営をしました。参加する方、参画する方々双方にとってより良いフォーラムになるよう意見を交わしたうえで、知恵を合わせ、協力しました。またボランティアスタッフの多大な助力を得て、「フォーラム資料集 19」の印刷・帳合い・製本、会場設営、受付、地場産ランチ、ホッと一息ハーブティー、野菜準備、写真展関係、DVD 制作などに汗を流し、力を合わせました。

★ **実行委員、ボランティアスタッフ**

原栄一（はるひ野里山学校）、石井信・雑倉正人・夏目正子（柿生の里クラブ）、佐藤勲、川名和恵（早野聖地公園里山ボランティア）、藤原美子・村山美香子・橋本斗志子（グループ「せっけんの家」）、阿部貴久子（吹込みクローバーの会）、久保田洋一ほか（木こりの会）、小田桐浩（多摩美みどりの会）、大倉正直・矢野敬二・中島和夫（岡上に親しむ会-郷土誌会）、森真澄（からむしボランティア）、福田尊善（里地里山ナチュラルリスト養成講座）、林恵美（かわさきかえるプロジェクト）、飯野優子（麻生プレーパークを創る会）、田崎政子（森もりクラブ）、がーでん・ららら（杉浦幸信）、はぐるま工房の皆さん、麻生区子ども会連合会と関係者の皆さん（蛭町優・伊藤志津子・鈴木浩子・川崎美智代・佐藤昇平・菊池美佐子）、和光大学生（辻本祐太・中山みどり・遠藤一樹・杉岡真弥・村松将至）、〔地元の農産物協力〕宮野薫、鈴木章夫・井上いづみ・長瀬和徳（柿生野菜生産者直売会）〔炭の協力など〕早野聖地公園里山ボランティアの皆さん

★ **里山フォーラム in 麻生幹事（実行委員兼務）**

中谷一郎（多摩美の森の会）、小座間清次郎（多摩美みどりの会）、山崎優（麻生区子ども会連合会）、岡本剛介（万福寺人參友の会）、堂前雅史（和光大学；かわ道楽）、小穴誠（里楽塾）、石井よし子・草野昌子・高部由美子・宮河悦子・小堀靖子（柿生の里クラブ；まちはミュージアム-遊歩道ファンクラブ）、板倉栄治、長谷部淳、小松英子（長沢花みずき会）麻生市民館（西倉美幸）

- ◎ 麻生市民館の皆さまには担当職員を始め、年間を通して大変お世話になっております。厚く御礼申し上げます。



区役所ロビーでの事前展示



図書館前ロビーでの広報



川崎市ではまだイベント自粛が行なわれていませんでしたが、行政や学校、団体とも話し合いの上、開催しました。2/22 はアルコール消毒など万全の準備をし受付に臨みました。



市民館オープンスペースの写真展示の様子



和光大学生の活躍に大いに助けられました。



ららら、はぐるま工房、スタッフでお茶の準備。

あさお 里山こどもクラブ

こどもたちが育つ足元の麻生の里地里山の恵みや不思議を
探検・発見、そして体験するプログラム。

耳を澄まし目を凝らし、自分の手と体と心で感じ、

自分の頭で考えましょう。

「不思議」がむくむく湧いてきたら

調べてみよう、聞いてみよう！

こどもたちへの
メッセージ

プレの回 7月21日(日曜) 講師 石井よし子

協力 柿生の里クラブメンバー、里山フォーラム in 麻生幹事



「からむし」ってなに？



プレ回はからむしボランティア研修第2回の午前の部と共催で大人も子ども
も一緒に学び体験し、文化や技の継承をはかりました。①カラムシはイラク

サ科の植物 ②映像「薫風ふるさとを追って一区名の由来
—」(日本映画学校制作)『からむしと麻』(民族文化映像研究所

制作)や麻生(あさお)という地
名などから 苧(からむし)・麻(あ
さ)からみえる暮らしの歴史を学
び、「繊維」を沢山準備しました。



カラムシを刈取り「茎」を使う 皮をむいて 繊維を取り出す(苧引き)

第1回 8月4日(日曜) 講師 高柳芳恵

協力 からむしボランティア、里山フォーラム in 麻生幹事・スタッフ

「からむし」でつくる



紐を空木に通してネッ
クレスができました。



編布にもチャレンジ



「植物の繊維って何だろう？」を学び、柿生の里や区役所の
母子像前のからむしの靱皮から繊維を取り出し、さいて、撚っ
て、縲って丈夫な糸(紐)を作ることができました！

第2回 9月1日(日曜) 講師 小柳津貴子(日本民家園職員)

協力 こどもクラブスタッフ 里山フォーラム in 麻生幹事

日本民家園で麻生の昔探訪

生田緑地の川崎市立日本民家園を探訪しました。「お
こさまとの暮らし-岡上の養蚕信仰-」展の会場でお
蚕さんに会い、緑地を抜けて江戸時代の金程村の旧伊
藤家住宅到着。その中に入ることもできました。自然
と共に衣食住を営んでいた様子が浮かんできました。





伊藤家住宅の外



伊藤家住宅の中



岡上の高札場あたり



蚕影山祠堂

第3回 10月22日(火曜-祝日) 講師 高柳芳恵(ナチュラリスト)
協力 里山フォーラムin麻生幹事・スタッフ

木の実・草の実・不思議だね

あいにくの雨でしたが、高柳芳恵先生がたくさん葉っぱやどんぐり持って来てくれました。スタジイご飯の美味しかったこと！



葉っぱをよーく見たことありますか？
葉っぱでどんな遊びをしましたか？
落ちてくる葉にがんばる葉、
大きい葉に小さい葉。
たくさんたくさんひろっても、
おんなじ葉っぱは見つからない。
さあ、虫めがね片手に、
葉っぱの不思議を見つけましょう。



第4回 11月24日(日曜) 講師 小林健人(長池公園副園長)
協力 雛倉正人、里山フォーラムin麻生幹事・スタッフ



あかねいろ、くちばいろってどんな色？
秋のおっ越し山は自然のパレット。
秋色探しの旅にいざ、出発です！
冬じたくに忙しい、野鳥や生きものたちとの
出会いにも期待しましょう！

五感で楽しむ秋の里山

心地よい秋の自然を体全体で感じながら
里山探検！ おっ越し山～柿生の里散歩道～
柿生の里特別緑地保全地区



キバナアキギリの
花が動く！



拾った葉や実で自分の色図鑑を作る



第5回 12月1日(日曜) 講師 柿生の里クラブ、里山フォーラムin麻生幹事・スタッフ

冬の準備に忙しい里山で 麦の学習 in 柿生



秋から冬への自然の変化を感じながら柿生の里の広場へ。
樹間から山伏も登場しました。
大麦小麦の違い、麦と稲の違い
を学んで縄縷いにチャレンジ。
遊ぼうパンを焼いて修了式です。
焼き芋はお土産に。





里地・里山カフェ塾

からむし講座

麻生区の地名の由来と言われる 麻-苧麻(からむし)。人々はからむしの繊維で紐や糸を作り衣服、漁網、紙などをつくり暮らしに役立てていました。7月4日、21日のボランティア研修(学習&実習+演習)で木綿以前の繊維:麻や苧麻を学び、苧引きして繊維を抽出し、あさお里山こどもクラブへ向けての準備をしました。



万福寺鮮紅大長人参

「第20回万福寺人参品評会&試食会-私の万福寺人参を語り合う会」は12月21日に開催されました。長さ80~90cm越えの人参も数点並び、小学生からシニアまで80名余の方々に熱気溢れる集いとなりました。

入賞者の方々 最優秀賞-タイガーファームB、

味覚賞-鈴木章夫、香り賞-瀬藤忠彦、姿賞-林蛍子、ユニーク賞-マッシュファーム宮本和子、特別賞-金程小2年(色彩)・明治大学 宮本菜々子(形・長さ)、努力賞-千代ヶ丘小5年・金程中学校
〈審査委員 成松次郎,長瀬和徳,元木悟,野口聡〉(共催 万福寺人参友の会)

里地里山ナチュラリスト 養成講座

地球温暖化や自然の破壊が進む中で私たちはどうしたら「いのち」をはぐくむことができるのでしょうか? —自然の多様性や関わり方を学んで明日へ向かう—

回	期日	テーマ	内容
1	11月16日(土)	早野川流域の尾根谷戸を歩く観る考える	早野川流域左岸にある多様なみどりの数々と地形に感動しながら観察し、人々の関わりを学びました。講師 川名和恵、石井よし子 (オプション) 11月19日(木) 東柿生小学校6年生が里山学習の場である早野梅ヶ谷戸の西尾根から東尾根を案内してくれました。
2	12月14日(土)	麻生川上流域の街の自然を歩く観る考える	こやのさ緑道-檜山公園-弘法松公園そして南百合丘小を取巻く「やすらぎの森」に入りました。開校から50年の歳月と120種類の樹々の存在。関わられた人々の思いが子どもたちへの豊かな環境学習の場を創出していました、講師 高柳芳恵、藤田康郎
3	1月12日(日)	SDGsとは何か 私たちはどう生きる?	持続可能な環境・社会に変えて行こうと、堂前雅史先生のご紹介で環境倫理学の鬼頭秀一先生にお越し頂きSDGsの本質の理解を進め一人一人がSDGsの物語をつくりました。SDGsの包括性・統合性を考えるため17の目標のカードを使い、自分の問題として、可能な限りすべての目標を繋いでいきました。
4	2月22日(土)	里地里山ナチュラリストのすすめ	“2020里山フォーラム in 麻生”に参加し交流できました。
第5回 3月14日(土)は新治市民の森を探訪し、これからの展望する予定でしたが新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止となりました。			



SDGs(Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)

スタッフを随時募集しています。共に歩いて行きましょう。下記へご連絡ください。

主催 里山フォーラム in 麻生/麻生区生涯学習支援課(麻生市民館)

里山フォーラム E-mail satoyamaforum@gmail.com TEL 070-6426-6123 麻生市民館 TEL 044-951-1300